

緊急発売!

オーパス・アルテ、パイロイト音楽祭と長期契約締結 新時代のパイロイトがついにベールを脱ぐ!

オーパス・アルテ初のCDリリース! 《リング》に新たな名盤が誕生

オーパス・アルテ パイロイト音楽祭プロジェクト Vol.1

ワーグナー 《ニーベルングの指環》 全曲

クリスティアン・ティーレマン指揮 | パイロイト音楽祭 2008年ライブ収録



仕様: CD14枚組 品番: OACD9000BD 価格: オープン・プライス

POS CODE: 809478090007 英・独語解説 英・独・仏語リブレット 収録時間: 14時間56分

2009年12月上旬発売

【特別寄稿】

21世紀初頭のバイロイト音楽祭を飾る名演

岡本 稔



第2次大戦後、1951年にバイロイト音楽祭が再開され、ワーグナーの孫2人による体制でいわゆる「新バイロイト様式」による名舞台が生まれた。そこで〈ニーベルングの指環〉のタクトをとり、名演を実現したのがクナッパーツブッシュ、カイルベルト、ベームといった巨匠たちだった。ベームが1966年、67年に指揮したライブはその当時の充実ぶりを如実に伝えている。その後、セッションの映像収録と並行して音声の収録がなされるようになったため、通常公演を収録した真の意味でのライブは正規のルートではリリースされていなかった。2008年に長らく総監督を務めたヴォルフガングが退き、娘二人による双頭体制に変わり、バイロイト音楽祭にも新しい風が吹きこんできた。

その予兆となったのが、2007年のカタリーナ演出による〈マイスタージンガー〉のライブのDVD化、そして2008年に収録されたティーレマン指揮による今回の〈リング〉のCD化をあげることができるだろう。そこからは劇場に入ることが許された限られた人たちばかりでなく、より多くの人たちに上演を体験してもらい、開かれた音楽祭にする意図がくみ取れる。

2006年にタンクレート・ドルストによって新演出された〈リング〉では、初年度からティーレマンが指揮を担当した。ドルストの演出については賛否が分かれたものの、音楽の面に関しては初年度から非常に高い評価を確立した。とりわけ卓越していたのがオーケストラ。往年のドイツ系巨匠の音楽が持つ重量感、響きの質感、そして、現代の上演にふさわしい卓越したアンサンブルはこの指揮者以外、現在実現しえないものだろう。初年度の常として歌手陣についてはやや不満の残る人もいたものの、ヴォータン役のドーマンに代表されるように年を追うごとに充実し、2008年の時点でほぼ完熟に近い出来に到達した。

録音を聴いて驚いたのがバイロイト祝祭劇場特有の音響が忠実に収められているところ。オーケストラが大音量で鳴り響くところでも、歌手の声がマスクされない特殊構造の劇場の音響特性が見事にとらえられている。新たな〈リング〉の名盤の誕生を大いに歓迎したい。

【内容紹介】

ティーレマンは、献身的な演奏家が集うオーケストラから、緻密で輝かしく、そして活力に満ちた演奏を引き出した。

ニューヨーク・タイムズ

今年のバイロイトの《指環》はティーレマンに尽きる……これは疑いようがない。彼はその壮大なスケール、容赦なく降り注がれる苛烈な力強さをもって、記念碑的な音楽体験を創造したのだ。

英ガーディアン紙

ティーレマンが今夏、大曲《ニーベルングの指環》でバイロイト音楽祭を席卷した。(中略)ティーレマンは劇場全体をさながらオルガンのように鳴らしてみせた。

朝日新聞(2009.8.28 2009年のティーレマン《指環》について)

バイロイト新時代の幕開け！ オーパス・アルテ、バイロイトと長期パートナー契約締結



OPUS  ARTE

2009年秋、英国オーパス・アルテ社よりビッグニュースが飛び込んできました。それはオーパス・アルテ社が、大家ワーグナー自らが創設し、100年以上の歴史を誇る歴史的音楽祭「バイロイト音楽祭」と長期パートナー契約を締結したというもの。ワーグナー上演の聖地であるこの音楽祭は、世界一チケット入手が困難なことでも知られており、またここ10年ほど映像・録音物のリリースが途絶えていることもあって、その実像はヴェールに包まれていました。

長年音楽監督として君臨してきたヴォルフガング・ワーグナー(ワーグナーの孫)の後継者として、2009年から二頭体制で音楽監督に就任したカタリーナ・ワーグナーとエーファ・ワーグナー・パスキエ(ともにワーグナーの曾孫)は、この歴史ある音楽祭に新風を吹き込むべく、さまざまな新しい試みに挑戦し始めました。インターネット中継や、野外スクリーンを利用したライブ・ビューイングなど、最新のメディアを積極活用した「聖地の大衆化」は、バイロイト新時代の幕開けとして大いに話題となりました。その一環として結実したのが、今回のオーパス・アルテ社との提携による、最新舞台を収めたCD&DVDの世界発売なのです。

第1弾はリング！ バイロイトの《リング》ライブ全曲CDは66&67年のベーム盤以来

栄えある<オーパス・アルテ バイロイト音楽祭プロジェクト>第1弾は、バイロイト音楽祭のメイン演目《ニーベルングの指環》をライブ収録した全曲CD、DVD専門レーベルであったオーパス・アルテが初めてCDリリースに挑戦します。バイロイトの《リング》といえば、フルトヴェングラー、クナッパーツブッシュ、カイルベルト、ベーム、ブーレーズ、パレンボイムなど、綺羅星のごときスター指揮者たちが名演を繰り広げてきましたが、全曲盤のライブ録音としては、なんと1966~67年のカール・ベーム盤(Philips)以来、実に約40年ぶりの正規盤リリースとなります(ブーレーズ盤、パレンボイム盤は通常公演のライブではなく別録音)。決して途切れることのない、みなぎる力感と推進力は、まさにライブならではの、巨大な音のうねりに身をまかせることで、めくるめく15時間のバイロイト体験を味わうことができるでしょう。

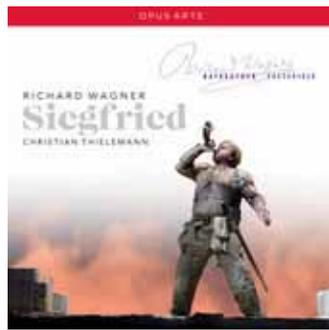
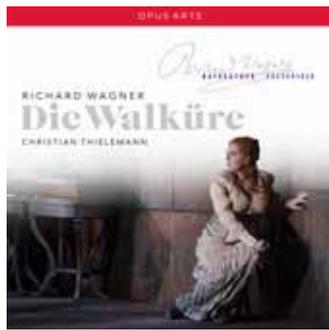
「伝統」と「新生」の狭間に立ち現れるものは……バイロイトの看板指揮者ティーレマン

「ドイツの伝統を継承する第一人者」と称され、欧米で熱狂的な支持を集める指揮者クリスティアン・ティーレマン。ウィーン・フィルやベルリン・フィルに客演した際はチケットが即完売するほどの人気ぶりで、2010年春には音楽監督を務めるミュンヘン・フィルと来日公演が予定されており、日本でも注目が高まっています。

ティーレマンは2000年に《ニュルンベルグのマイスタージンガー》でバイロイト音楽祭デビュー。以来毎年出演を重ね、バイロイトになくてはならない存在となっています。《リング》は2006年から2009年の今年に至るまで4年連続指揮を担当し(2010年も予定)、その評価もすこぶる高いものでした。

伝統の殻を打ち破り、新時代に向けて生まれ変わろうとするバイロイトにあって、「伝統の継承者」と称されるティーレマンは、どのような化学反応を生み出すのでしょうか。転換期にあるバイロイトの力学の多様性が最も顕在化しているのがこのティーレマンの《リング》なのかもしれません。

【収録曲 & キャスト】



リヒャルト・ワーグナー Richard Wagner (1813-83)

舞台祝祭劇 《ニーベルングの指環》 Bühnenfestspiel »Der Ring des Nibelungen«

序夜 楽劇《ラインの黄金》 **DAS RHEINGOLD** | CD2 枚組 151:17

ヴォータン: アルベルト・ドーマン

Wotan Albert Dohmen

ドンナー: ラルフ・ルーカス

Donner Ralf Lukas

フロー: クレメンス・ビーバー

Froh Clemens Bieber

ローゲ: アルノルト・ベゾイエン

Loge Arnold Bezuyen

ファゾルト: クワンチュル・ユン

Fasolt Kwangchul Youn

ファフナー: ハンス＝ペーター・ケーニヒ

Fafner Hans-Peter König

アルベリヒ: アンドリュー・ショア

Alberich Andrew Shore

ミーメ: ゲルハルト・ジューゲル

Mime Gerhard Siegel

フリッカ: ミシェル・ブリート

Fricka Michelle Breedt

フライア: エディット・ハラール

Freia Edith Haller

エルダ: クリスタ・マイヤー

Erda Christa Mayer

ヴォークリンデ: フィオヌアラ・マッカーシー

Woglinde Fionnuala McCarthy

ヴェルグンデ: ウルリケ・ヘルツェル

Wellgunde Ulrike Helzel

フロスヒルデ: ジモーネ・シュレーダー

Flosshilde Simone Schröder

第一夜 楽劇《ワルキューレ》 **DIE WALKÜRE** | CD4 枚組 225:33

ジークムント: エントリク・ヴォトリヒ

Sigmund Endrik Wottrich

フンディング: クワンチュル・ユン

Hunding Kwangchul Youn

ヴォータン: アルベルト・ドーマン

Wotan Albert Dohmen

ジークリンデ: エファ＝マリア・ウェストブロック

Sieglinde Eva-Maria Westbroek

ブリュンヒルデ: リンダ・ワトソン

Brünnhilde Linda Watson

フリッカ: ミシェル・ブリート

Fricka Michelle Breedt

ゲルヒルデ: ソーニャ・ミューレック

Gerhilde Sonja Mühleck

オルトリンデ: アンナ・ガブラー

Ortlinde Anna Gabler

ワルトラウテ: マルティーナ・ディーケ

Waltraute Martina Dike

シュヴェルトライテ: ジモーネ・シュレーダー

Schwertleite Simone Schröder

ヘルムヴィーゲ: エディット・ハラール

Helmwige Edith Haller

ジークルーネ: ウィルケ・テ・ブルメルストルーテ

Siegrune Wilke te Brummelstroete

グリムゲルデ: アンネット・キュッテンバウム

Grimgerde Annette Küttenbaum

ロスヴァイセ: マヌエラ・プレス

Rossweiße Manuela Bress

第二夜 楽劇《ジークフリート》 **SIEGFRIED** | CD4 枚組 244:37

ジークフリート: ステファン・グールド
Siegfried Stephen Gould
ミーメ: ゲルハルト・ジーゲル
Mime Gerhard Siegel
さすらい人: アルベルト・ドーメン
Der Wanderer Albert Dohmen
アルベリヒ: アンドリュウ・ショア
Alberich Andrew Shore

ファフナー: ハンス＝ペーター・ケーニヒ
Fafner Hans-Peter König
エルダ: クリスタ・マイヤー
Erda Christa Mayer
ブリュンヒルデ: リンダ・ワトソン
Brünnhilde Linda Watson
森の鳥: ロビン・ジョハンセン
Stimme des Waldvogels Robin Johannsen

第三夜 楽劇《神々の黄昏》 **GOTTERDÄMMERUNG** | CD4 枚組 275:26

ジークフリート: ステファン・グールド
Siegfried Stephen Gould
グンター: ラルフ・ルーカス
Gunther Ralf Lukas
ハーゲン: ハンス＝ペーター・ケーニヒ
Hagen Hans-Peter König
アルベリヒ: アンドリュウ・ショア
Alberich Andrew Shore
ブリュンヒルデ: リンダ・ワトソン
Brünnhilde Linda Watson
グートルーネ: エディット・ハッラー
Gutrune Edith Haller
ヴァルトラウテ: クリスタ・マイヤー
Waltraute Christa Mayer

第1のノルン: ジモーネ・シュレーダー
1. Norn Simone Schröder
第2のノルン: マルティーナ・ディーケ
2. Norn Martina Dike
第3のノルン: エディット・ハラー
3. Norn Edith Haller
ヴォークリンデ: フィオヌアラ・マッカーシー
Woglinde Fionnuala McCarthy
ヴェルグンデ: ウルリケ・ヘルツェル
Wellgunde Ulrike Helzel
フロスヒルデ: ジモーネ・シュレーダー
Flosshilde Simone Schröder

指揮: クリスティアン・ティーレマン

Dirigent Christian Thielemann

合唱指揮: エベルハルト・フリードリヒ
Chorleitung Eberhard Friedrich

バイロイト祝祭管弦楽団 & 合唱団

BAYREUTH FESTIVAL ORCHESTRA AND CHORUS

[録音] 2008年 バイロイト音楽祭(ドイツ)におけるライブ収録
[総収録時間] 897分

【クリスティアン・ティーレマン:プロフィール】

1959年、ベルリン生まれ。5歳でピアノ、7歳からヴィオラを始め、ベルリン音楽大学でピアノを修めるとともに、プライヴェートで指揮、作曲、さらにベルリン・フィルのヘルベルト・フォン・カラヤン基金でジュスト・カッポーネにヴィオラを師事、カラヤンのアシスタントとしてオペラ、コンサートの両面で幅広い経験を積む。1985年にデュッセルドルフのライン・ドイツオペラの第一指揮者に就任、1988年から92年まではニュルンベルク市立劇場の音楽総監督をつとめた。その間、1981年のバイロイト音楽祭ではジャン＝ピエール・ポネルによる《トリスタンとイゾルデ》新演出を指揮したダニエル・バレンボイムの筆頭アシスタントとして活躍した。

1991年にはベルリン・ドイツオペラに《ローエングリン》でデビューして大成功を収めた。1993年秋の日本公演でも同じ演目を指揮。その後も客演によって、ベルリンにおける評価を着実に高め、1997年の夏にはベルリン・ドイツオペラの音楽総監督に就任、2004年までの在任期間中にこの歌劇場の黄金時代を現出させた。2000年夏にはバイロイト音楽祭にデビュー、《ニュルンベルクのマイスタージンガー》で大成功を収めた。この公演の練習中には2002年の《タンホイザー》の指揮者に指名され、さらに2006年の《リング》の指揮者にも内定。初年度にしてバイロイト音楽祭の指揮者陣の柱となる待遇を得た。

2000年10月にはウィーン・フィルにデビュー、2003年ウィーン国立歌劇場の《トリスタンとイゾルデ》の新演出を指揮し、その後も《マイスタージンガー》、《パルジファル》で圧倒的な成功をおさめている。2004年にミュンヘン・フィルの音楽総監督に就任、ブルックナーをはじめとするドイツのレパートリーで極めて高い評価を確立した。2011年にその職を辞し、2012年よりザクセン州立シュターツカペレ・ドレスデンの首席指揮者に転じる。(岡本 稔)

【クリスティアン・ティーレマン:バイロイト音楽祭 演奏記録】

- ・2000年 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》
- ・2001年 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》 《パルジファル》
再開50周年記念演奏会 ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付」
- ・2002年 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》 《タンホイザー》
- ・2003～2005年 《タンホイザー》
- ・2006～2009年(2010年も上演予定) 《ニーベルングの指環》

【クリスティアン・ティーレマン & ミュンヘン・フィル 来日公演情報】

2010年

3月24日(水)	午後7時開演	大阪	ザ・シンフォニーホール
3月25日(木)	午後6時45分開演	名古屋	愛知県芸術劇場
3月27日(土)	午後2時開演	福岡	アクロス福岡シンフォニーホール
3月28日(日)	午後3時開演	横浜	横浜みなとみらい大ホール
3月29日(月)	午後7時開演	東京	サントリーホール

プログラム A (福岡、横浜公演)

ブルックナー:交響曲第8番八短調 ハース版

プログラム B (大阪、名古屋、東京公演)

ワーグナー:歌劇「タンホイザー」序曲(大阪公演は楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より前奏曲)

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲二長調 op.77

ベートーヴェン:交響曲第5番八短調 op.67「運命」

ヴァイオリン独奏:ワディム・レーピン 指揮:クリスティアン・ティーレマン ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団

[お問い合わせ]

東京:サントリーホール・チケットセンター(03・3584・9999) / 横浜:神奈川芸術協会(045・453・5080)

名古屋:東海テレビ放送事業部(052・954・1161) / 大阪:ABCチケットセンター(06・6453・6000)

福岡:アクロス福岡チケットセンター(092・725・9112)

【オーパス・アルテ バイロイト音楽祭プロジェクト 今後の予定】

リリース内容が変更になる場合がございます。ご了承ください。

Vol.2

2010年3月上旬発売予定

ワーグナー 楽劇《トリスタンとイゾルデ》

バイロイト音楽祭 2009 [DVD OA1033D (3枚組) / Blu-ray OABD7067D (2枚組)]

トリスタン: ロバート・ディーン・スミス

イゾルデ: イレーネ・テオリン

マルケ王: ロベルト・ホル

クルヴェナル: ユッカ・ラシライネン

ブランゲーネ: ミシェル・ブリード

メーロト: ラルフ・ルーカス

若い水夫: クレメンス・ビーバー

羊飼いは: アルナルト・ベゾイエン

舵取り: マーティン・スネル

指揮: ペーター・シュナイダー

バイロイト祝祭管弦楽団 & 合唱団

演出: クリストフ・マルターラー



ブルーレイとDVDを同時発売

ブルーレイディスク盤はブルーレイ専用プレイヤー以外では再生できません。



Vol.3

発売時期未定

ワーグナー 楽劇《ワルキューレ》

バイロイト音楽祭 2010

指揮: クリスティアン・ティーレマン

バイロイト祝祭管弦楽団

演出: タンクレート・ドルスト

CD(リング)所収の《ワルキューレ》と同プロダクションで、2010年上演予定の舞台の映像収録がアナウンスされております。詳細は未定です。